

区民と区長のタウンミーティング懇談内容 会場(中野区役所 第11～13会議室) 平成30年8月28日

テーマ「中野駅周辺のまちづくり」

関係部署 中野駅周辺まちづくり分野

区長あいさつ

タウンミーティングは本日で3回目であり、初めてテーマを設けている。中野駅周辺まちづくりについて大いに語っていただきたい。本日の趣旨としては、グループに分けてお話をしていただく。以前は教室形式で対話集会を行っており、皆さんと区の一問一答だった。区民の間でも意見交換をした方が良い議論ができると思う。本日は初めての試みであり、うまくいくよう皆さんにご協力いただきたい。

各グループの発表概要

■まちづくりの進め方について

- 区民の意見を聞いてほしい。タウンミーティングを含め、話し合いが活発に行われるようにしてほしい。
- まちをつくるときの手法が情報公開されていない。内容が具体的に見えない。計画は止められないのか。
- 区民がまちをつくっていくことを理解してほしい。そうすれば福祉、介護、障害者にやさしい良いまちができる。
- 全体の進め方、コンセプトが感じられない。
- 区は決まるまで教えず、決まったら変えない。住民不在の決定になっている。
- これまでの計画を前提としないしてほしい。

■中野駅周辺のまちづくり（全般）について

- 今後、人口が減少するのに、ハコモノが必要か疑問である。
- 再開発で何を目標しているのか分からない。
- 商業施設が多すぎる。
- ハードでなくソフトに予算を使ってほしい。都市計画中心にしないで人を大切にしてほしい。子育て、教育を大切に、弱者にやさしくしてほしい。
- 大きな都市開発は民間資金でほとんど出来上がる。どういうスタンスで膨大な区の予算を使っているのか。
- 開発ではなく緑地、自然を残してほしい。
- 商店街を活性化してほしい。昔からの店が減っている。

■中野駅周辺地区について

- 開発に伴う駅前混雑をどうするのか考えるべきである。
- 中野駅西口改札をもっと早く作ってほしい。
- 駅周辺は、どこも同じに見える。中野らしい、中野独自のまちを作るべきである。
- 駅前だけでなく周辺の発展も考える必要がある。
- 駅前広場に整備するエレベーター、エスカレーターは計画どおり進めてほしい。
- 車椅子に配慮した通路、トイレの整備などバリアフリーを早く進めてほしい。
- 暑さ対策にも配慮が必要である。
- 自転車動線の配慮や駐輪場の整備、歩道と車道の分離が必要である。
- 中野二丁目の2棟のビルは高さを低くしてほしい。
- 中野三丁目は人にやさしい緑の多いまちにする。
- 千光前通りを拡幅し、双方向に通行できるようにしてほしい。
- 中野通りの冠水対策を行ってほしい。
- 屋外の喫煙所はやめてほしい。
- 体育館が駅から遠くなるのはどうか。

■区役所・サンプラザについて

- 1万人規模ではなく、現在のサンプラザの規模が良い。
- サンプラザの計画を早めに教えてほしい。集客交流施設の内容が具体的に見えない。
- 区役所・サンプラザ地区検証委員会には学識経験者を入れてほしい、
- 中野サンプラザは残してほしい。
- 名前は残してほしい。区民に愛されるサンプラザにしてほしい。
- 1万人アリーナは作らないでほしい。
- 区役所自体のバリアフリー化を進めてほしい。

発表に対する区長のコメント

- まちづくりの計画が、区民にしっかり知らされていないと感じている。計画を決めるプロセスや、決まったときの考え方などについては、反省しないといけない。
- 中野のまちをどうしていくのかについて、もう一回皆さんと共有し議論したい。キーワードは、住んでいる人にとってどうなのか。区の考えについて資料を示して、同じ立場で考えていきたい。タウンミーティングをそういう機会にしていくので参加してほしい。
- 中野駅周辺には子育て親子で楽しめる場所がないと感じている。中野区で子育てをしたい人に住んでほしいと考えており、子育て先進区にしていきたい。
- 駅周辺の各地区で進めている開発では、業務、商業、住宅などいろいろな用途が考えられているが、商業が多いという意見にハッとした。商業施設に同じようなチェーン店が入ると、まち全体の魅力としてはどうかと感じており、用途についても区として見ていく必要がある。
- 中野駅北口やレンガ坂の商店街では個性ある個店が新たに生まれ、魅力を高めている。既存の商店街をどう守るかの視点は必要である。
- 駅周辺に何が建つかも大事だが、皆さんが出かけやすいまちは何かを考えることが重要であり、例えば、ベンチ、休める場所が駅周辺にも必要である。
- 選挙で掲げた公約は、一定程度区民の合意を得ていると考えている。一方で、マニフェストに掲げた50以上の項目全てが認められたと思ってやっていくのは良くない。しっかり見極めていきたい。